８ - １ 異常コード一覧

”VPH Series HE Type τDISC 取扱説明書（TI-1471*）“を参照願います。

VPH-HEタイプ50W～7kW(τDISC版)取扱説明書

８ - ２ 異常コード仕様

８ - ２ - １ アラーム仕様

各項目の詳細については”VPH Series HE Type τDISC 取扱説明書（TI-1471*）“を参照願います。

AL.102　主電源不足電圧異常

a. 内容

サーボオン状態のときに主電源DC 電圧が規定値以下となった。
[P124(1 桁目) ： 主電源不足電圧異常仕様選択] の設定値が「1」または「2」の場合に本異常が有効となります。
本異常が発生した場合、以下の要因が考えられます。

- 電源容量の不足による電圧低下もしくは、瞬時停電（約10ms 以上の停電） が発生した。
- 電源投入直後にサーボオンした。
- 電源端子の「L1-L2」間のショートバーを外した。

瞬時停電が発生して保護機能が働いた後、更に停電状態が続くと制御電源がなくなり保護回路がリセットされます。その後、再び電源が復帰すると、各種指令（速度指令やパルス列指令等） が入力されます。電源復帰直後にモータが動作してしまうシーケンスは危険ですので絶対に組まないでください。
保護機能が働きアラームが発生（出力）した時点で、各信号OFF 及び指令停止するような外部シーケンスにしてください。
本異常が発生する装置内部の主電源DC 電圧値は次の通りです。

表 ８－１ 主電源不足電圧異常検出値

入力電源仕様	異常検出電圧
AC200V	177V 以下
AC400V	350V 以下

b. 異常時動作

サーボオフ

c. 解除方法

以下のいずれかを実行。

- ARST 信号入力
- RST 信号入力
- 電源再投入

d. 関連表示

C016 ： 主電源DC 電圧

e. 関連パラメータ

P124[1 桁目] ： 主電源不足電圧異常仕様選択
P124[5 ～ 2 桁目] ： 主電源不足電圧異常検出許容時間

f. 出力信号状態

ALM ： ○／ WNG ： ●／ RDY ： ●／ ZRDY ： ●／ BRK ： ●

AL.103　主電源過電圧異常

a. 内容

主電源電圧の上昇、または負荷イナーシャの過大等により、回生処理能力を超え主電源DC電圧が規定以上になった。

モータの地絡または漏れ電流過大により、アース電位が上昇し主電源DC 電圧が規定以上になった。

モータ停止時または減速時に主電源過電圧異常が発生した場合、負荷イナーシャが大きい為に回生エネルギーが過大となっていることが考えられます。この場合、以下の改善を行ってください。

- 回生抵抗を付ける
- 減速時間を長くする
- 使用動作速度を下げる

モータの地絡または漏れ電流過大により、アース電位が上昇して主電源DC 電圧が規定以上になったことが考えられます。本装置とモータの接続回路と接地を確認すると共に、使用電源電圧についても確認してください。

装置内部の主電源DC 電圧の検出電圧値は次の通りです。

表 8-2 主電源過電圧異常検出値

入力電源仕様	異常検出電圧
AC200V	410V 以上
AC400V	855V 以上

b. 異常時動作

サーボオフ

c. 解除方法

以下のいずれかを実行。

- ARST 信号入力
- RST 信号入力
- 電源再投入

d. 関連表示

－

e. 関連パラメータ

－

f. 出力信号状態

ALM ： ○／ WNG ： ●／ RDY ： ●／ ZRDY ： ●／ BRK ： ●

※その他のアラーム項目については”VPH Series HE Type τDISC 取扱説明書（TI-1471*）“を参照願います。

8 - 2 - 2 ワーニング仕様

”VPH Series HE Type τDISC 取扱説明書（TI-1471*）“を参照願います。